



091993-001-6

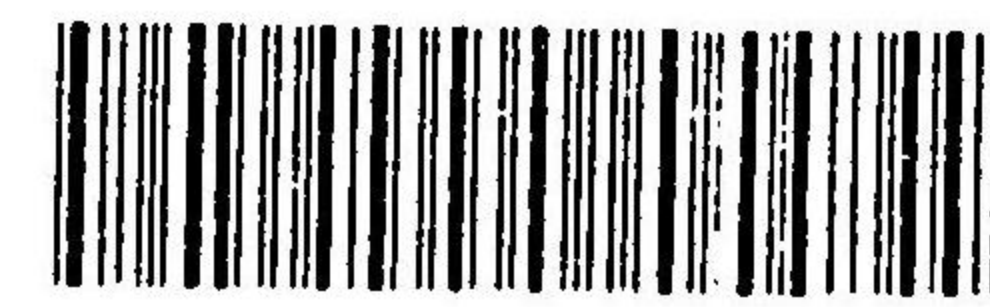
特59-898

〔絵本〕

奥田 忠兵衛 / 刊

M19-20

DBP-0648





美少年の妻

明治十九年十二月九日内務省告示 1885



爰小延宝八年因幡国
鳥取の城主松平相模守
藩中み二百石を領し平井
庄左門の
長男み權八といふ美少年あり女武み達し

一

一



平井

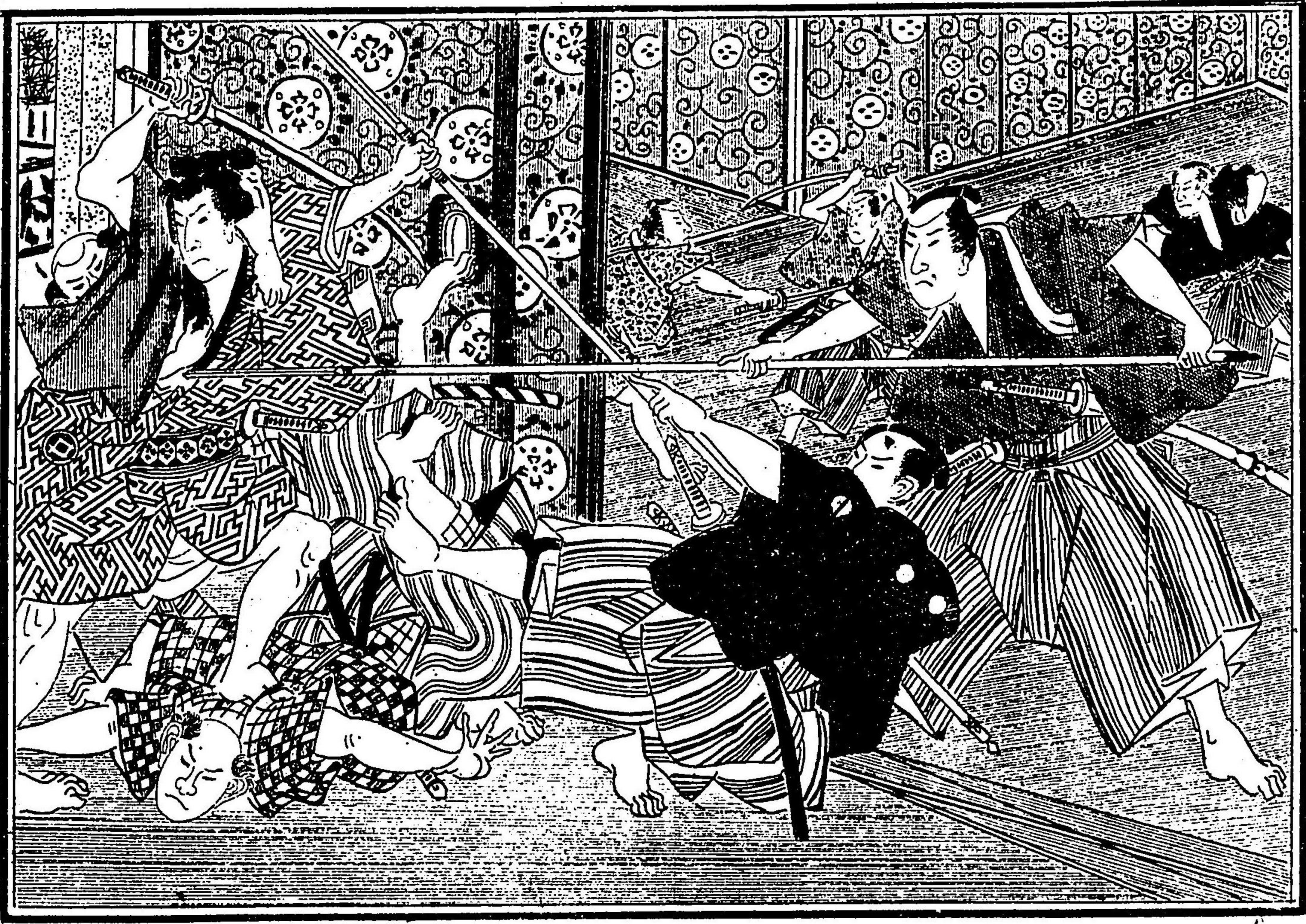
爰小延宝八年因幡國
 鳥取の城主松平相模守
 藩中二百石を領し平井
 庄左衛門の
 長男権八といふ美少年あり文武み達し一圓



明治十九年十二月九日初編第拾一頁 1885



美少年



平井權八
蜜水野郎



平井權八
 蜜水野郎
 忍入恩人
 長兵衛仇
 寺西閑心
 討ツ





ト
十

二
五

金をうたいそれありて
馬事働道は東海
谷堤小権八地蔵と
て尊体
今有
熊
向
越
て
道



平井

四

路銀とての
発足は永の旅路つらひ
熊谷堤小絹賣弥市と
奥儀と極め古老も及ぶ程ゆりか
同藩小本庄助大夫といふ姫臣ありま
飼犬の喫合より口論及びついに助太夫
刀小斬殺し急ぎ我家
立寄り
父庄左
其身
関東へ
赴
と



鈴々森驛路平井權八
逢依谷備隨院長兵衛



下
十

長兵衛とあがり
我家小伴ひ懇小き話と
けろち新吉原三浦屋の権君
小紫小馴漆と重ねる深く言がらす



下
十

それより
権八と
川崎
駕
鈴森
助共大勢
喧嘩を
権八の路金を
権八を大勢
を斬り殺す
院の
播磨



麻の
金ハ
つひり
やすく
日本堤で
人殺
奪ひて



上方筋を
終る百捕られ
藤丸巻かて東海道を
宿次小江戸へ送らる途中
大雨たけき夜ふ紛れ寮小
縄板を
逃去り江戸へ来る

平井

六





御届明治十九年十一月五日
 浅草区森田町廿番地
 編輯兼出版人 奥田忠兵衛

偕ともも小紫こむらさきをごん權ごん分ぶん平へいは
 墓かみ前まへみ至いたり自みづか害がひして
 果はたみける權ごん八はちと共ともみ獲とらり目め黒くろの
 比ひ翼よく塚づかとて今いまみ浮うき名なハ残のこりたる

錦繪紙色々
 銅鑄小本品々

版元

東京浅草區 森田町廿番地
 奥田忠兵衛

